

# 農業を核としたものづくり拠点の形成と産業創出プロジェクト

## 1. 目的

新たな担い手の確保に向け、地域資源を活用した新技術による付加価値の高い生産体制の確立と資源循環型エネルギーの発掘、活用、製造による産業の創出、さらには、障がい者や高齢者等が参画した農産加工品開発を通じ、農業の成長産業化や農業を核とした産業創出や、地域が連携した「ものづくり」環境を創出する。

## 2. 事業の概要

### 農業を核とした産業創出プロジェクト事業

計 42,400千円

・野菜栽培実験ハウス借上料	18,000千円
・機器等借上料(除雪機、加工設備)	3,000千円
・資源循環型ボイラー・燃焼機器等整備工事	13,000千円
・地域資源を活用した野菜栽培研究委託料	5,000千円
・消耗品、光熱水費等	1,900千円
・地域連携集落活性化支援委託料(買い物サービス)	1,000千円
・地域連携集落活性化支援委託料(給食サービス)	500千円



## 3. 波及効果

- ①新規就農者など、新技術による野菜・花卉栽培に取り組むことにより、付加価値の高い農産物の生産に向けた取組を確立し、担い手を確保する。
- ②新たな地域資源(粃殻等)やエネルギーなどの発掘、活用、製造等を通じて、新たな産業を創出する。
- ③障がい者や地域の高齢者が生き生きと参画し、就労する場を創出する。
- ④市街地などからの就労・交流人口を創出する。

## 4. アウトカム(成果目標)

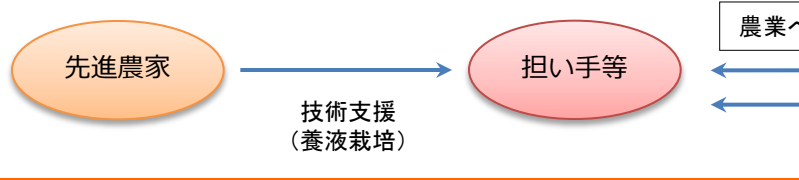
新規就農者等の増加／地域資源・エネルギーなどを活用した付加価値の高い農産物の開発／野菜生産面積の増加／地場農産物を活用した加工品数の増加

# 農業を核としたものづくり拠点の形成と産業創出プロジェクト (地方創生先行型)

## 新たな農業技術を活用した担い手確保

- 資源循環型エネルギーによる新技術活用実験ハウスを設置し、新たな担い手と新規就農者の冬場の就労機会などを確保

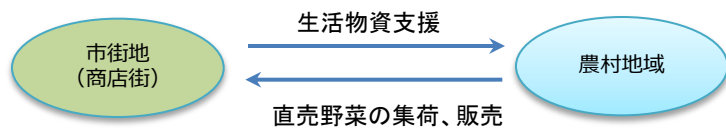
- ① 耐雪型の実験ハウスを設置し、新技術（養液栽培等）による農作業環境を整備し、新たな担い手の確保と新規就農者の冬場の就労機会などの確保を図る。
- ② 生産、販売をコーディネートできる人材を養成し、高品質かつ付加価値の高い野菜の栽培、供給体制の確立と、新たな販路の開拓を図る。



## 地域が連携した集落活性化の取組推進

- 農村集落の活性化支援

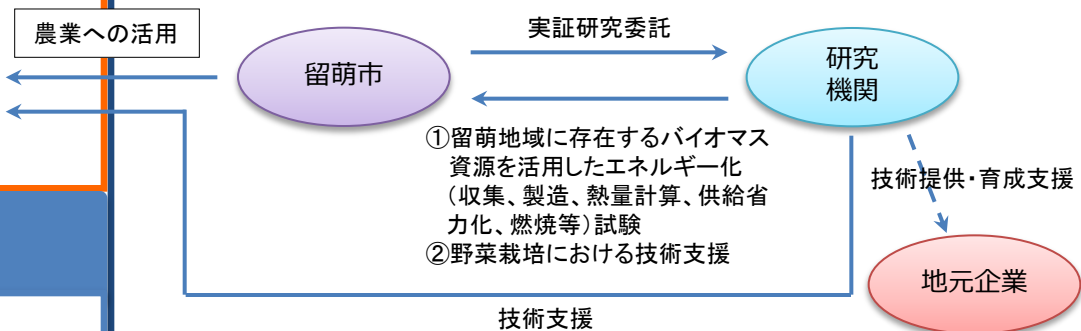
- ① 市街地（商店街）との連携による買い物支援と直売野菜の集荷、販売支援
- ② 地域の食を活かした、給食サービス実施試験



## 地域資源循環型エネルギー活用システムの構築

- 豪雪・寒冷地域における地域のバイオマス資源を活用した冬期のハウス生産と熱供給システムの構築による農業への利活用試験

- ① 地域に存在するバイオマス資源（粃殻、建築端材、間伐材等）の収集、貯蔵、活用システムの構築
- ② バイオマス資源を活用した新エネルギーの製造及び燃焼試験
- ③ 豪雪・寒冷地域における冬期ハウス栽培に必要なバイオマス資源の燃焼装置及び熱供給システム、栽培技術の支援



## 付加価値の高い農産物加工品開発

- 地域が連携したものづくり環境の構築

- ① 付加価値の高い地場野菜を活用した農産加工品開発
- ② 障がい者、高齢者、新規就農者等の冬場の就労機会の確保